



「前略おふくろ様」「北の国から」「やすらぎの郷」などの巨匠・倉本聰が長年構想し、

「どうしても書いておきたかった」と語る渾身の物語がついに映画化。

人々の前から姿を消した天才画家が秘めてきた想い、美と芸術への怨念、そして忘れられない過去が明らかになる時、

至高の美と愛の全貌がキャンパスに描きだされる。

孤高の画家・津山竜次を本木雅弘が演じるほか、小泉今日子、中井貴一、石坂浩二、仲村トオル、清水美砂ら豪華キャストが集結。

『沈まぬ太陽』や『Fukushima 50』の若松節朗がメガホンをとり、緊迫のドラマ、深遠な愛、痛切な人間模様をスクリーンに刻みつける。

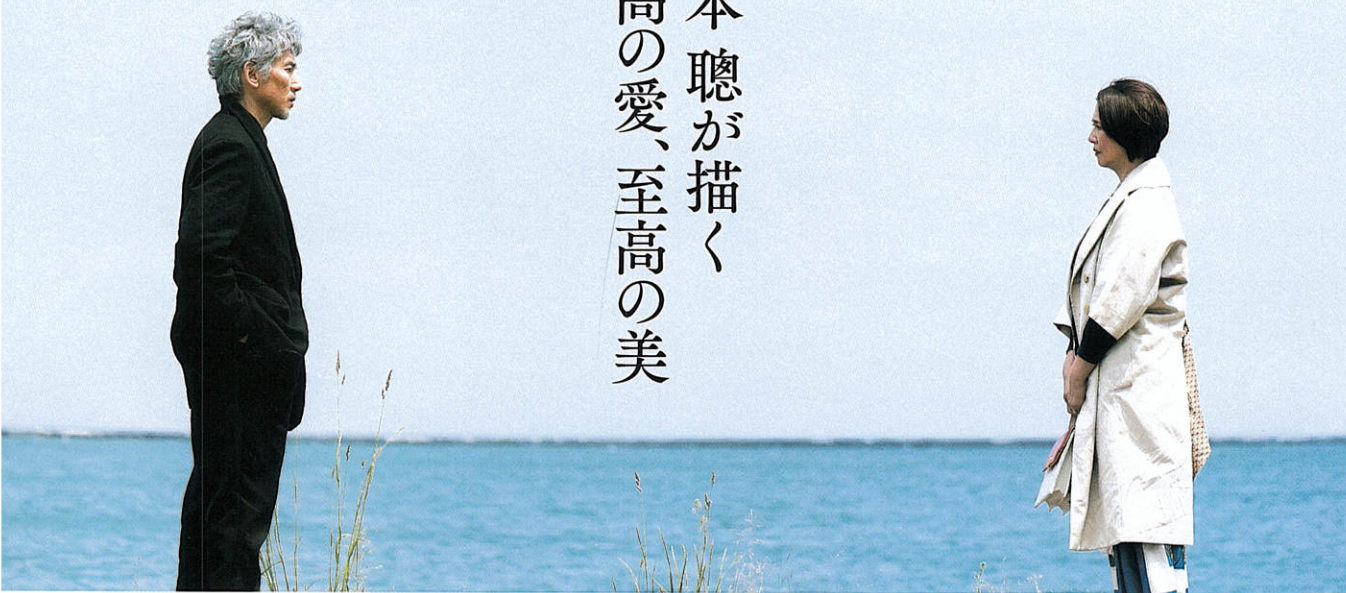
撮影は多くの倉本作品の舞台になっている北海道でも行われ、小樽でのロケ撮影を敢行。

運河の美しい風景が重厚な物語を彩る。

人間にとって「美」とは何か？ 私たちは人生の終わりに何を見つけるのか？

観客の心を揺さぶり続けてきた作家・倉本聰がついにたどり着いた集大成的作品が幕を開ける。

倉本聰が描く 至高の愛、至高の美



世紀の贗作事件の鍵は、若き日に消息を絶った天才画家と遠い昔の恋人

世界的な画家、田村修三の展覧会で大事件が起きた。展示作品のひとつが贗作だとわかったのだ。連日、報道が加熱する中、北海道で全身に刺青の入った女の死体が発見される。このふたつの事件の間に浮かび上がった男。それは、かつて新進気鋭の天才画家と呼ばれるも、突然人々の前から姿を消した津山竜次だった。かつての竜次の恋人で、現在は田村の妻・安奈は北海道へ向かう。

もう会うことはないと思っていた竜次と安奈は小樽で再会を果たす。しかし、病は竜次の身体を蝕んでいた。残り少ない時間の中で彼は何を描くのか？ 何を思うのか？ 彼が秘めていた想いとは？

2024年 | 日本映画 | 112分 | ㊦ ©2024 映画『海の沈黙』INUP CO.,LTD <https://happinet-phantom.com/uminochinmoku/> X @uminochinmoku #海の沈黙



11月22日(金) 全国公開